

# 民主

PRESS MINSHU

2010年12月03日発行  
民主党プレス民主編集部  
〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

## 高柳忠夫特集 号外

民主党奈良県第2区総支部生駒市支部  
〒630-0258 生駒市東新町2-10  
Tel 71-7700 Fax 71-7800



### 校舎は老朽、 クーラーもまだ、 耐震化も終わらず

# 教育は「未来への投資」

教育は「未来への投資」。奈良県教育の充実が、奈良のあしたをつくります。

2010年4月から公立高校の授業料無償化が実現しました。政権交代により「コンクリートから人へ」「生活が第一」という民主党の政策が、教育の場に確実に反映されました。

教育は国民の基本的な権利です。親の経済力によって決まるのではなく、人生のスタートとしての「学び」は公平でなければなりません。

教育は「未来への投資」。奈良県  
ません。また、私たちが直面している、環境問題・財政問題をはじめ、さまざまな課題の解決も、将来を担う子どもたちに託さなければなりません。

#### 奈良県の学校教育は どうでしょう。

校舎の老朽化がすすみ、耐震化もまだまだ終わっていません。公立高校普通教室のクーラーも、大阪府、京都府、和歌山県は設置済みですが、奈良県はまだ。学校のガス・水道・電気などの需用費もままならないというのが実態です。

教材・教具の更新も滞っています。教育機器も時代遅れのものが目立ちます。非常勤の先生方が他府県に比べ、たくさん配置されている実態があります。

子どもたちが、生き生きと目を輝かせて通える学校をつくるのが私たち大人の責任であり、政治の責任です。

#### 学校は地域で支えよう

まちづくりに欠かせないのは誰もが集まりやすいと感じている小学校。そして中学校。文化の拠点に高等学校を位置づけ生活の場でサポートします。

#### 元災害救援 ボランティア代表



民主党生駒市支部  
副幹事長  
**沢口ゆきふみ**  
TEL/FAX  
73-0825

これまでの福祉は、施設や制度の整備を優先してきました。今後は人の心が通い、教育・防災など多面的な関係を強化する福祉が必要です。それを私は「高度な福祉」と呼び、真の福祉充実社会を支える基礎であると考えます。

#### 情報公開と 市民参加が大切



生駒市議会議員  
**福中まみ**  
TEL/FAX  
78-0577

市民の皆さまの声を市政に反映させ、課題の解決に向け粘り強く、全力で取り組んでいきます。情報公開と市民参加の仕組みをしっかりつくる市政実現にがんばります。今後ともご指導、ご支援の程よろしくお願いたします。

#### 「まちの憲法」施行



生駒市議会議員  
**おざさ浩樹**  
TEL/FAX  
71-7700  
71-7800

生駒市では「まちの憲法」自治基本条例が施行されました。私たち一人ひとりがまちを知り、まちを考え、まちをつくる仕組みのスタートです。この仕組みを確かなものにし、多様な市民による共生のまちづくりをめざします。

# 困っている子どもが 安心できる奨学金に

## 県・奨学金制度の活用は不十分

決して金額や人数は多くないのですが、奈良県の先生方が出

し合ったお金で運営されていて、将来返還する必要のない奨

学金制度があります。父親のD

Vにより何も持たず奈良に逃れ

てきた母子が、この奨学金のお

かげで県内の高校に入りなおす

勇気を与えられたといえます。

今では大学の教育学部に通い、

先生を目指しています。

に活用されているとは言えない

のです。

保護者の失業・破産のときに

は、子どもがアルバイトした賃

金に家族が生活を頼っている場

合も珍しくありません。そのよ

うな生活不安の中にあつて、返

還する自信がないため現在の奨

学金制度を頼ってくれない子ど

もたちがいかに多いことが。

一昨年大量に発生した日系の

外国人労働者の雇止めときも

そうでした。職を失って仕方な

く本国に帰るかもしれないとい

本当につづいている子どもたち

が安心して利用できる奨学金制

度を、皆さんの少しずつの善意

と協力で創りあげたいのです。

可能性を広げるはずの奨学金が

子どもの夢を奪いかねない現状

の奨学金は貸与ローンという現

行制度から給付型(返済不要に

戻すことも真剣に論議するとき

でしょう。

大学は卒業したのに

奨学金の返済が半年以上遅れてい

る人の69%は年収200万円以下、

41%は年収100万円以下。奨学

金の延滞者のうち正規労働者は29

%、無職・アルバイトは50%以上

「こんなこと「ズ」で聞けばいいのか」に答えます

## よろず相談

12月12日(日)に

くらし・子育て・職場・お仕事・  
住まいでのさまざまな問題につ  
いて相談できる無料相談日を11  
月に引き続き設定いたしました。  
みなさんが日々の生活の中で、  
お困りになっている事、どこに  
相談すればいいのと悩んでおら  
れる事。法律をはじめ各分野の  
専門スタッフによる行政相談・

税金・介護・教育・マンション・  
お仕事でのトラブルなどの相談に  
対応します。弁護士・行政書士な  
どが対応します。  
秘密は厳守いたしますので、お  
気軽にご利用ください。  
▼日時 12月12日(日曜日)  
1月16日(日曜日)  
1時半から4時半まで

▼あらかじめ簡単な内容のご連  
絡と予約をおねがいします。  
TEL(71)7700  
FAX(71)7800  
\*奈良県議会議員 高柳忠夫  
\*生駒市議会議員 福中まみ  
\*民主党生駒支部副幹事長 沢口ゆきふ



奈良県議会議員  
高柳忠夫  
の経歴

50年 11月2日生まれ

69年 福井大学工学部入学

福井大学生協理事・組織部長

福井県消団連事務局長

福井県民生協設立に参加

76年 大阪堺金岡郵便局勤務

80年 東大阪市教組勤務

教育・環境のまちづくりに参加

91年 生駒市議会議員(二期)

99年 奈良県議会議員に初当選

(現在三期目)

市民オフィス設立

10年 「生駒フォーラム」

発行20年目

現在

教育連合奈良顧問

日本民主教育政治連盟議員

奈良県交通運輸政策議員懇談会

事務局長

連合奈良生駒市地域協議会顧問

中皮腫・アスベスト疾患・患者と

家族の会奈良支部顧問

奈良県監査委員

民主党奈良県連広報委員長

民主党第二区総支部幹事長

生駒フォーラム代表編集委員